

児童放課後活動『わくわく活動』で科学実験★

今年度で3年目を迎える「わくわく活動」は、児童の「放課後の居場所づくり」と「体験活動を通したさらなる成長」を目的に行われています。今年度は、申込みのあった33名の児童を対象として、6月から毎月第1木曜日の放課後に地域連携室で活動しています。

先日行われた9月の活動では、「スライム作り」と「人工いくら作り」の科学実験が実施されました。「スライム作り」では、自分の好きな色に染めた液体が少しずつスライムへと変化していく様子を観察し、感触を確かめながら夢中で液体をこねる姿が見られました。

また、「人工いくら作り」では、アルギン酸ナトリウム水溶液の中に好きな色を付けた塩化カルシウム水溶液を落とし、いくらのような粒を作る実験に挑戦。形や大きさを工夫しながら思い思いの作品を作り、できあがったユニークな形を友達同士で見せ合って楽しんでいました。

科学の不思議な反応を体験しながら学べる活動をはじめ、さまざまな体験活動を行ってくださる「わくわく隊」の皆様、本当にありがとうございます。残りの活動も、安全で楽しく、子どもたちにとって実り多い時間となることでしょう。

